

目 次

日本百観音霊場へのいざない	2
略地図	7
巡礼用語集	14
霊場の歴史背景と特色	10



第一番 青岸渡寺	16
第二番 紀三井寺	18
第三番 粉河寺	20
第四番 施福寺	22
第五番 葛井寺	24
第六番 南法華寺(壇坂寺)	26
第七番 岡寺	28
第八番 長谷寺	30
第九番 興福寺南円堂	32
第十番 三室戸寺	34
第十一番 醍醐寺	36
第十二番 正法寺(岩間寺)	38



第一番 杉本寺	84
第二番 岩殿寺	86
第三番 安養院田代寺	87
第四番 長谷寺	88
第五番 勝福寺	89
第六番 長谷寺	90
第七番 光明寺	91
第八番 星谷寺	92
第九番 慈光寺	93
第十番 正法寺	94
第十一番 安樂寺	95
第十二番 慈恩寺	96
第十三番 浅草寺	97
第十四番 弘明寺	98
第十五番 長谷寺	99
第十六番 水澤寺	100
第十七番 満願寺	101
第十八番 中禪寺	102
第十九番 大谷寺	103

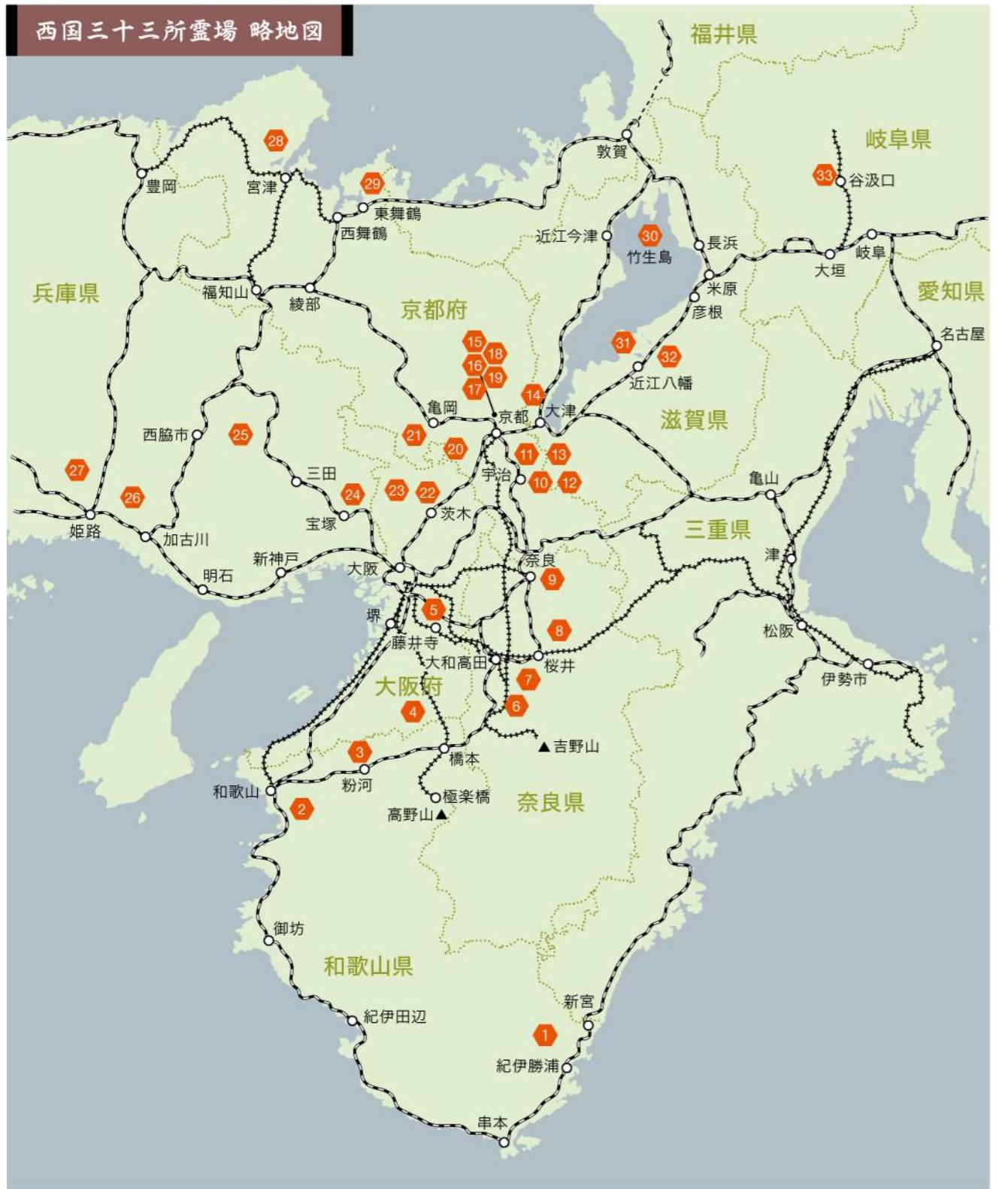


西国番外札所

第一番 园城寺(三井寺)	40
第二番 今熊野觀音寺	42
第三番 清水寺	44
第四番 六波羅蜜寺	46
第五番 善峯寺	48
第六番 穴太寺	50
第七番 総持寺	52
第八番 勝尾寺	54
第九番 穴太寺	56
第十番 善峯寺	58
第十一番 総持寺	60
第十二番 勝尾寺	62
第十三番 穴太寺	64
第十四番 善峯寺	66
第十五番 穴太寺	68
第十六番 清水寺	70
第十七番 圓教寺	72
第十八番 一乘寺	74
第十九番 成相寺	76
第二十番 圓教寺	78
第二十一番 一乘寺	80
第二十二番 成相寺	82
第二十三番 勝尾寺	84
第二十四番 穴太寺	86
第二十五番 清水寺	88
第二十六番 圓教寺	90
第二十七番 一乘寺	92
第二十八番 成相寺	94
第二十九番 圓教寺	96
第三十番 勝尾寺	98
第三十一番 長命寺	100
第三十二番 觀音正寺	102
第三十三番 華嚴寺	104
第三十四番 西明寺	106
第三十五番 日輪寺	107
第三十六番 佐竹寺	108
第三十七番 正福寺	109
第三十八番 楽法寺	110
第三十九番 大御堂	111
第四十番 清滝寺	112
第四十一番 圓福寺	113
第四十二番 龍正院	114
第四十三番 千葉寺	115
第四十四番 高藏寺	116
第四十五番 笠森寺	117
第四十六番 清水寺	118
第四十七番 那古寺	119



第一番 四萬部寺	124
第二番 真福寺	125
第三番 常泉寺	126



- | | | | |
|--------------|---------------|-------------|--------------|
| ① 第一番 青岸渡寺 | ⑩ 第十番 三室戸寺 | ⑯ 第十九番 革堂 | ㉘ 第二十八番 成相寺 |
| ② 第二番 紀三井寺 | ⑪ 第十一番 醍醐寺 | ㉐ 第二十番 善峯寺 | ㉙ 第二十九番 松尾寺 |
| ③ 第三番 粉河寺 | ㉒ 第十二番 正法寺 | ㉑ 第二十一番 穴太寺 | ㉚ 第三十番 宝厳寺 |
| ④ 第四番 施福寺 | ㉓ 第十三番 石山寺 | ㉒ 第二十二番 総持寺 | ㉛ 第三十一番 長命寺 |
| ⑤ 第五番 葛井寺 | ㉔ 第十四番 園城寺 | ㉓ 第二十三番 勝尾寺 | ㉜ 第三十二番 観音正寺 |
| ⑥ 第六番 南法華寺 | ㉕ 第十五番 今熊野観音寺 | ㉔ 第二十四番 中山寺 | ㉝ 第三十三番 華嚴寺 |
| ⑦ 第七番 岡寺 | ㉖ 第十六番 清水寺 | ㉕ 第二十五番 清水寺 | |
| ⑧ 第八番 長谷寺 | ㉗ 第十七番 六波羅蜜寺 | ㉖ 第二十六番 一乗寺 | |
| ⑨ 第九番 興福寺南円堂 | ㉘ 第十八番 六角堂 | ㉗ 第二十七番 圓教寺 | |

第四番	語歌堂
第五番	金昌寺
第六番	法長寺
第七番	ト雲寺
第八番	西善寺
第九番	明智寺
第十番	常樂寺
第十一番	大慈寺
第十二番	慈眼寺
第十三番	野坂寺
第十四番	今宮坊
第十五番	少林寺
第十六番	西光寺
第十七番	定林寺
第十八番	龍石寺
第十九番	神門寺
第二十番	觀音寺
第二十一番	童子堂
第二十二番	音楽寺
第二十三番	岩之上堂
第二十四番	久昌寺
第二十五番	法泉寺
第二十六番	圓融寺
第二十七番	大湧寺
第二十八番	橋立堂
第二十九番	長泉院
第三十番	法雲寺
第三十一番	觀音院
第三十二番	法性寺
第三十三番	第三十四番
第三十四番	水潛寺
第三十五番	菊水寺
第三十六番	圓融寺
第三十七番	圓融寺
第三十八番	圓融寺
第三十九番	圓融寺
第四十番	圓融寺



あとがき

「凡例」

本書の記載事項は原則として、令和二年一月現在のものである。本文中、「歴史と見どころ」は淡交社編集局で作成した。「撮影メモ」は溝縁ひろし氏が執筆した雑誌『日本の老舗』(白川書院刊)誌上の連載「写真で歩く西國三十三所巡礼」「写真で歩く坂東三十三観音」写真で歩く秋の西國三十四観音の原稿から抄録したものである。

寺院の由緒沿革については各靈場会および各寺院の内容確認を得て、その記述に従つた。御本尊など固有名詞などの表記・読み方も原則として各寺院の慣用に合わせた。文化財は必要に応じて特記したものであり、網羅的に掲載したものではない。特に記載しない場合の「重要文化財」は国指定のものである。交通については、原則として公共交通機関で行けるルートを紹介した。一部、地域のコミュニティバスなどは除いていることがある。入山料・拝観料については原則として大人一般料金のみを記した。特に定めのない場合はあえて記していない。

149 150 151 152 153 154 155 156 157 158